

株式を購入したり、 売却したときは？

慣れないうちは取引があったとき、どんな勘定科目で処理すればよいのか、悩むケースもあるでしょう。そうした勘定科目の取扱いについて、新人さんと一緒に、事例をもとに学んでいきましょう。



新人さん：取引先の株式だけでなく、大手の会社の株式も持っているんですね。銘柄が多いから、管理が大変ですね。

先輩：そうだな。銘柄ごとの管理はもちろんだが、保有目的ごとの管理も必要だからね。

新人さん：保有目的ですか？

先輩：ああ、取引先との関係維持のために長期に保有していく株式もあれば、すぐに売却する予定の株式もあるだろう。保有目的によって、使う勘定科目が違うんだよ。

新人さん：株式ってまとめるだけじゃダメなんですね。

●解説

会計上の有価証券には、国債証券、地方債証券、株券、社債券等があります。法律上は、小切手、手形、切

手等も有価証券ですが、それらは会計上の有価証券には含まれません。

「有価証券」の勘定科目は、会計上の有価証券のうち、①売買目的で保有するもの、②満期まで保有する目的で1年以内に満期が到来するものを処理し、流動資産に表示します。それ以外の会計上の有価証券は、「投資有価証券」など固定資産に表示します。

「有価証券」の売買契約については、売買の約定日に取引を認識するのが原則です。具体的には、買い手は約定日に「有価証券」と「未払金」を計上し、売り手は「有価証券」の消滅とともに「未収入金」と「有価証券売却損益」を計上します。

「有価証券」の取得価額には、売買委託手数料のほか、購入に要した費用を含めます。売買では、消費税は非課税ですが、売買委託手数料は課税対象となります。 ㊦

ケース1 有価証券を購入した場合の処理

上場会社A社の株式100株を1株あたり2,000円で、証券会社を通じて売買目的で購入した。なお、売買委託手数料は2,750円（税込み）であった。

| | | | | | | |
|-------------|----------------|----------------|---|-------------|-----|---------|
| 【借方】 | 有価証券 仮払消費税等 | 202,500 250 | ／ | 【貸方】 | 未払金 | 202,750 |
|-------------|----------------|----------------|---|-------------|-----|---------|

ケース2 有価証券を売却した場合の処理

ケース1の株式100株を1株あたり3,000円で、証券会社を通じて売却した。なお、売買委託手数料は2,750円（税込み）であった。

| | | | | | | |
|-------------|-------------------------|-------------------------|---|-------------|-----------------|-------------------|
| 【借方】 | 未収入金 委託手数料 仮払消費税等 | 297,250 2,500 250 | ／ | 【貸方】 | 有価証券 有価証券売却益 | 202,500 97,500 |
|-------------|-------------------------|-------------------------|---|-------------|-----------------|-------------------|